

広島城三の丸歴史館の外観デザインの検討について

1 外観デザインの基本的な考え方

令和3年度第4回広島城の展示整備に関する懇談会における意見を踏まえ、広島城三の丸歴史館の外観デザインの基本的な考え方を次のとおり修正する。

【修正前】

広島城三の丸歴史館は、かつての広島城三の丸に位置し、また、内堀を挟んで隣接する表御門や石垣など周囲景観との調和を図る必要があることなどを踏まえ、階高や屋根形状を含め外観のデザインを検討する必要がある。

【修正後】

広島城三の丸歴史館は、博物館機能を十分に発揮できることを前提とした上で、かつての広島城三の丸に位置し、また、内堀を挟んで隣接する表御門や石垣など周囲景観との調和を図る必要があることなどを踏まえ、階高や屋根形状を含め、近世の歴史的な雰囲気を醸し出す「歴史ゾーン」にふさわしい外観のデザインを検討する必要がある。

2 建築等の専門家の意見の聴取

令和3年度第4回広島城の展示整備に関する懇談会における意見を踏まえ、広島城三の丸歴史館の外観デザインについては、「広島市都市デザインアドバイザー会議」において、建築、都市景観等の専門家の意見を聴取することとする。

なお、同会議における検討状況等については、今後開催する広島城の展示整備に関する懇談会において報告を行う。

<参考1> 広島市都市デザインアドバイザー会議開催要綱

<参考2> 広島市都市デザインアドバイザー会議委員名簿

<参考3> 広島城の展示整備に関する懇談会の開催スケジュール（予定）